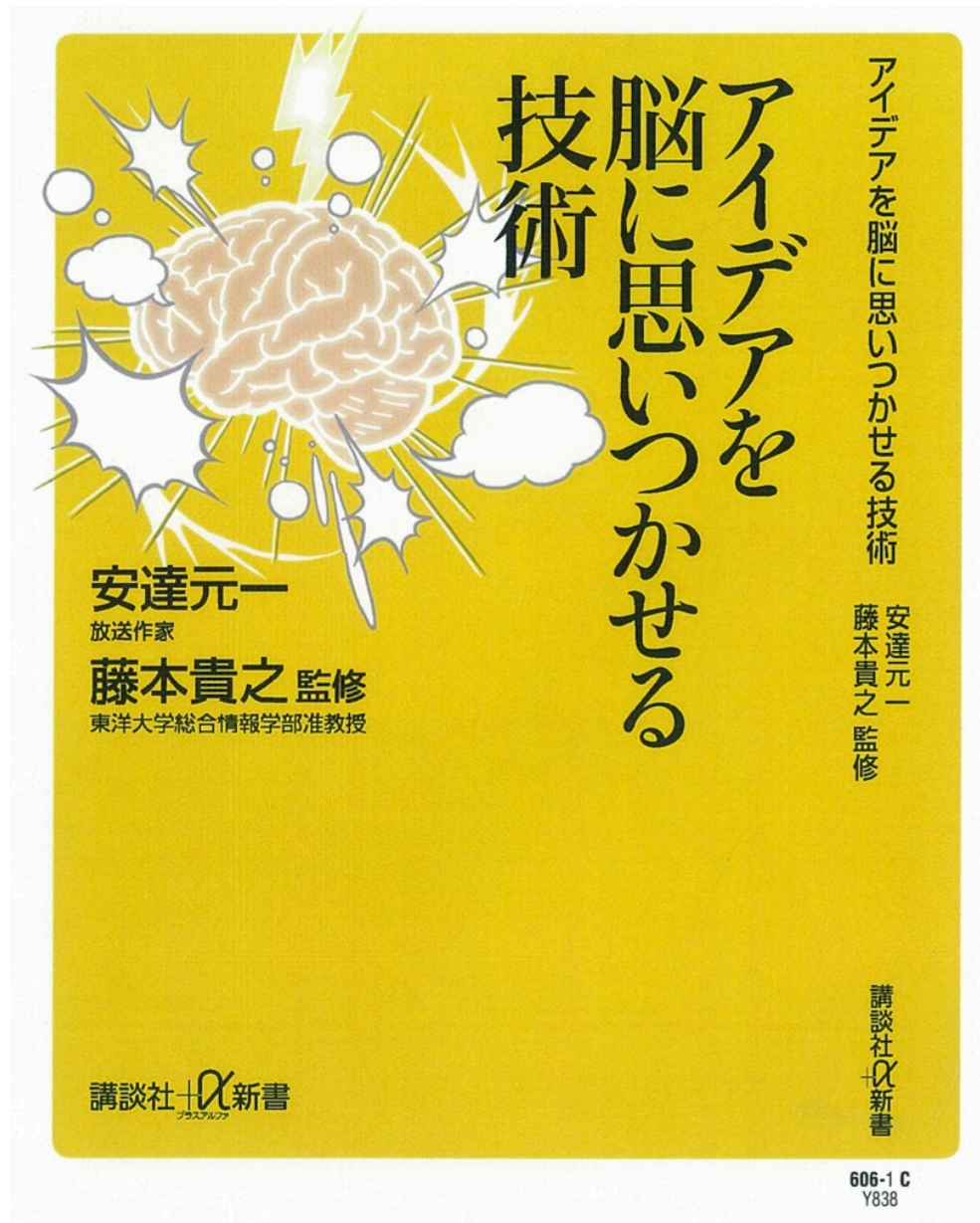




発売記念 ◎ 無料立ち読みでイトコ取り！

※発売されている本とは一部異なる箇所がある場合もございます。

はじめに



「私の脳よ、お願いだから頑張って、思いついて!」

という瞬間、日常生活の中で思えば多いのではないのでしょうか?

- ・会社で新企画を求められた。
- ・儲かる新ビジネスを考えなければならない。
- ・今日の会議で気の利いた発言をしたい。
- ・顧客満足度をUPさせる方法はないか?

といったビジネスシーンはもちろんですが、

- ・最近気になる、あの人のハートを射止める方法はないのか?
- ・もっとお金が貯まるいい方法があるはず!
- ・いつも挫折するダイエットを、長続きさせる秘策はないのか?
- ・友達のバースデーにサプライズプレゼントをしたい。
- ・頭の固い上司に、OKと言わせる方法はないか?
- ・理解不能の部下の、モチベーションを上げる秘策が欲しい!
- ・ヘソを曲げている妻の機嫌を直す、いいアイデアはないのか?
- ・夫が会社で出世するようにアドバイスしたい。
- ・子供がもっと勉強好きになる方法を考えたい。

などなど、「自分の脳がもっとバリバリ働いて、素晴らしいアイデアを思いついてくれたら!」という瞬間は、誰にでもあるでしょう。

しかし、多くの人が諦めています。

「まあ、私の脳なんてこんなもんだって」

「生まれつきだから、今更どうにもならないって」

「脳なんて、なにをやっても変わらないって」
そ・れ・が、大間違いです！！

◆
この本を手にとって下さったあなたに断言しましょう！

・あなたの脳は、本書の通りにやれば、驚くように勝手に動き出して、あなたが苦
勞しなくても、アイデアを思いつきまくります！

・しかもこれは、精神論や経験則ではありません。学術的に効果が認められた「科
学」なのです。

・例外なく、誰にでも、再現できる技術、それが科学です。だから、あなたにも簡
単にできます。

この本を世に出すに至った、私の話を少しさせて下さい。

「アイデアを思いつきませんでした」、が絶対に許されない職業があるのを御存知ですか。
しかも「もうちょっと時間を下さい、そうすれば思いつきますから」、も絶対に許されませ
ん。

それが私が27年間やってきている「放送作家」です。

「あの番組の新コーナーを考えろ」「あの枠を取るために新企画をひねり出せ」「あの芸人
のためのコント台本を書け」「あのクイズ番組の新しい問題を考えろ」「あのドラマのスト
ーリーを練ってこい」「あのドキュメンタリーの新しい見せ方を模索しろ」「あの情報番組
の斬新な切り口を生み出せ」……、日々の仕事の中で、膨大な量のアイデアを、休むこと
なく、時間的余裕も与えられず、まさに自転車操業で出し続けなければなりません。もち
ろん、量だけでなく、質も問われる厳しい世界です。

そんな世界で四半世紀、生き抜いてきました。

「SMAP×SMAP」「ダウンタウンのガキの使いやあらへんで」「ぐるぐるナインティ
ナイン」「とんねるずのみなさんのおかげでした」「踊る！さんま御殿」「奇跡体験！アンビ
リバボー」「笑っていいとも」「1億人の大質問！笑ってコラえて」「ドラえもん」「伊東家
の食卓」く私が担当させていただいた番組の一部です。おかげさまで、みなさんも一度は
見たことがあると思う人気番組をたくさん作らせて頂きました。私の担当番組の視聴率を

合計すると、1週間で200%を超えたことから、「視聴率200%男」といったニツクネームも頂きました。

しかし、こっそり告白しますが、私の脳はかなり普通です。

キラめくような才能も、天才的な発想も、実はありません。でも、なんとかやってこられたのは、私には「裏ワザ」があったからなのです！

それは「強制的に頭の中からアイデアを思いつかせる技術」です。本書でも紹介する、既に科学の分野で効果が実証されている、こういった発想法を、こっそり使ってきたのです。

- ・シックスハット法
- ・しりとりの法
- ・オズボーンのチェックリスト
- ・「なぜなぜ」5回法
- ・等価交換法
- ・マインドマップ
- ・ブレイン・ライティング法
- ・マンダラアート
- ・NM法



しかも、「私が使って有用だからといって、本当に誰にでも効果があるのか？」が気になる、仕事の傍ら、情報工学の大学院博士課程に入学し(好奇心が異常に旺盛なもので……)、その研究を経て本書を書いています。

昔から(古くは古代ローマ、ギリシャの時代から)様々な発想法・発想術が考案されてきました。実際に多くの場面で広く利用されているものから、ちよつと怪しげなモノまで玉石混合でした。

もちろん、学術やビジネスの現場で利用されて数多くの実績と成果を残している発想法も少なくありません。しかし、その反面、特定の状況でしか利用できなかったり、実施できれば成果はでそうだけ手続きが煩雑すぎで、誰でも使いこなせい方法だったり……。などなど、山のように提案されている発想法の中でも、実用性のある方法は意外と少ないも

のでした。

本書では、玉石混合で交通整理がなかなかされていない無数の発想法の中から、私自身も役に立ち、「誰でも・簡単に・すぐに」実践が可能で、すぐに成果・結果を出すことができる方法を選抜し、紹介しています。しかもそれらを、実際の被験者実験や体験利用を通して、さらに具体的で分かりやすい実践的な事例紹介と説明をしています。

本書でまとめた方法は、学術的にもその成果が広く認められたものばかりですので、神憑っている怪しげな「発想術」ではありません。いずれも「思いつく瞬間の脳を再現する発想技法」ばかりです。

少なくとも、本書で紹介した発想技法だけでも着実に身につければ、あなたの脳にも沸き上がるように、素晴らしいアイデアや、企画が生まれるようになることが実感できると思います。それぞれに異なる魅力と効果、使い方がありますので、みなさんの関心や目的、適性に合わせて使い分けて頂ければと思います。



そして、10番目の発想法として本書では『セレンディピティFA法』という、私・安達元一と大学院の指導教員であり、共同研究社でもある東洋大学准教授・藤本貴之博士と開発した新しい発想技法を紹介しています。この本の後半部分は、『セレンディピティFA法』に大きなページ数を割きました。(ちなみにFAとは藤本貴之博士と、安達元一のインシャルをとっています)『セレンディピティFA法』の最大の特徴は、これまでの様々な既存の発想法の「良い所」や「パフォーマンスが高い」部分やその効果的なエッセンスを抽出し、より高い効果と使いやすさを最大限拡張させて融合した「イトコ取り」のハイブリッド技法であるということです。もちろん、私の単なる思いつきなどではありませんので、ご安心ください。検証し尽くした発想技法の10番目にふさわしい効果的な方法です。

「オリジナルのアイデアを生み出すための発想力に才能や努力も要りません」

これが本書のコンセプトです。

「指示通りに考えを進めれば、そこにアイデアが勝手に生まれます」

これが読者のみなさんが本書に期待して頂ける効能です。嘘のような話ですが、本当で

す。

さあ、いままでの日常がガラリと変わります。「思いつかなかった」のは、あなたの脳が悪かったわけではありません。「思いつく技術」を知らなかっただけです。そして、それさえ知ってしまえば簡単です。次から次へと、止めようと思っても止まらないアイデアの洪水に、あなたは翻弄されるはずです。

では、リラックスしてページを進めていって下さい。

そして、冒頭ですが最後に言うておきます。これは、いま縁あって、この本を手にとっているあなただけが身につけられる手法です。ですから、この本のこととは絶対に友人に言うてはいけません。だって本書を読むだけで、誰もが簡単に「発想豊かな天才」になってしまうのですから。

目次

1、はじめに

- ・私の脳よ、お願いだから頑張つて、思いついて！
- ・あなたの脳が、勝手にアイデアを思いつくようになります
- ・売れっ子放送作家が、テレビの世界で、27年間生き抜いてきた裏ワザを本書で初公開！
- ・世界初公開、最新発想術「セレンディピティFA法」

1、あなたの頭の中から、強制的にアイデアを思いつかせる技術。

- ・しりとりの法
- ・シックスハット法
- ・マンダラアート
- ・ブレイン・ライティング法
- ・「なぜなぜ」5回法
- ・マインドマップ
- ・等価交換法
- ・オズボーンのチェックリスト
- ・NM法

2、「思いつき」へと誘う、「気付く」技術

〈あたり前の日常から「気づく」〉

- ・思いつきを記録する
- ・気になったことを写真に撮る
- ・毎日歩く通勤経路を観察して歩く
- ・いつもと異なる道を歩く

〈視点を変えることで「気づく」〉

- ・普段、読み飛ばしている雑誌や新聞のコーナーを読む
- ・雑誌や、折り込みなどの広告をじっくり読んでみる
- ・いつもと接しない人と話をする

〈潜在意識から「気づく」〉

- ・夢を記録する

- ・子供の頃に夢中になっていたことを思い出してみる

- ・いちばん使う言葉と、いちばん使わない言葉

〈インターネットを利用して「気づく」〉

- ・Wikipediaで気になったキーワードのリンクを記録する

- ・Twitterで他人同士の「やりとり」を覗いてみる

- ・Google Earthで行ったことのない場所に行く

3、思いつく最新技術・世界初公開「セレンディピティFA法」

- ・気づきの奥義「セレンディピティ」とは？

- ・あなたにもセレンディピティをもたらす「FA法」

- ・アイデアの種を分類する　↳情報デザインの理論を知ろう

- ・情報デザイン理論をカスタマイズする

- ・実際にやってみよう！　↳若者にウケる新感覚飲食店の企画案

- ・分類―時間

- ・分類―位置

- ・分類―連続量

- ・アイデアを脳に思いつかせる瞬間

- ・実際にやってみよう　↳感謝されて、儲かる介護施設の企画案